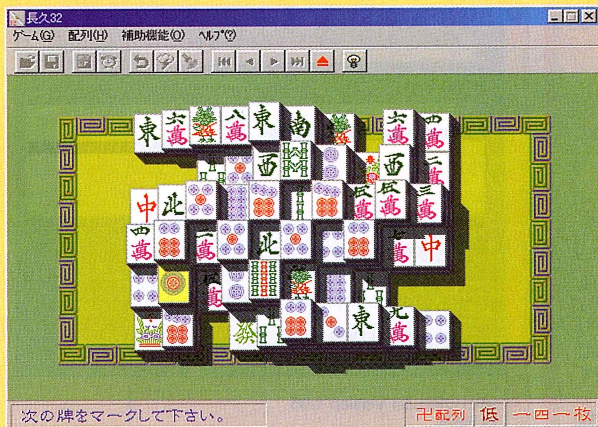


上海に似て非なる、積まれた麻雀牌を取っていくパズルゲーム  
長久32



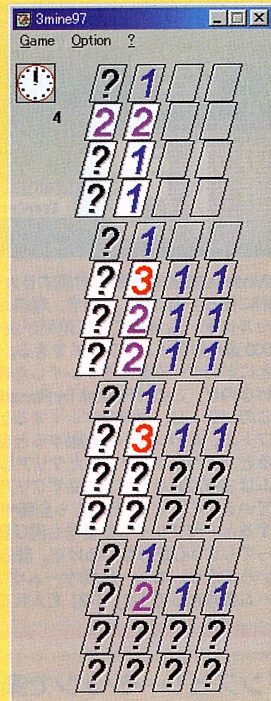
シェアウェア  
CHO35A.LZH  
高井 徳男  
<http://www.vector.co.jp/>

写真を見ると「上海」かと思ってしまうようなゲームだが、実は全く違うルールのゲームだ。見えている牌はすべて取ることができるのだが、取るための条件が面白い。萬子、索子、筒子については1-2-3、4-5-6、7-8-9のいずれかの順番でしか取ることができない。つまり、3-4-5という取り方はできない。また風牌は東-南-西-北の順に、三元牌は白-発-中、季節牌は春-夏-秋-冬という具合に取っていく。牌は必ず全部取れるように積まれているので、手詰まりになってしまった場合は取り方が悪かったということになる。

シェアウェア登録前は、常に積み方の同じ面でもしか遊べないようにになっている。登録することによって違う牌の積み方や配列で遊べるようになる。個人的に麻雀牌を使ったパズルはそろそろ出尽くしたかと思っていたのだが、積み上げるタイプのゲームでまだこれだけのオリジナリティのあるものが作れるのかと感心した。上海に食傷さみ人でも楽しめるゲームである。

本家と同じルールで遊べる3次元化した超難解マインスイーパ  
3mine97 -3次元地雷パズル for Win32

3m97531.exe  
mau.yumirin/RunDog  
<http://rundog.and.or.jp/>

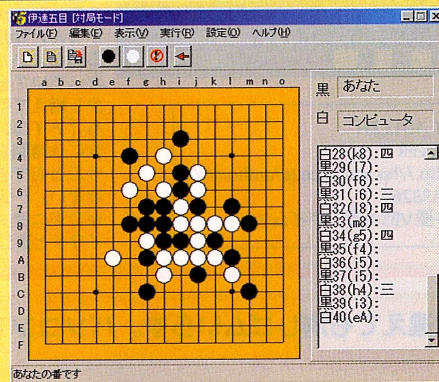


Windows3.1の時代からWindowsに標準で付属するゲーム「マインスイーパ」を3次元化したゲーム。普通のマインスイーパに「いい加減飽きてきた」、「もっと難しい問題をプレイしたい」という人にはぜひとも試してみてほしい。ルールは本家マインスイーパとまったく同じだが先述の通り3次元になっているので、数字の有効な8方向が上下の段にも波及する。したがって2次元では8マスうちの爆弾の数を示していたものが、この「3mine」では26マス（一番上と一番下の段の数字だと17マス）のうちの爆弾の数を示すことになる。これだけでも一気に難しくなったような気がするだろう。BASICレベルでは各段に爆弾が1つしかないのだが、初めてのプレイでは何をやっていいのかわからず理解しがたい。ヘルプファイルには解法の手引きが書かれているのでとりあえず見てから始めたほうが無難だろう。

実はこの「3mine」はMS-DOSの時代からあるのだが、Windowsのせいでもうしてもこちらが垂流に見えてしまう。世にはまだまだ優れたものが隠れているという好例とも言えるだろう。

これは難しいゾ！ 本格的な五目並べゲーム  
伊達五目

D5M211.EXE  
ToMo  
<http://www.2k.biglobe.ne.jp/~tomoto/>



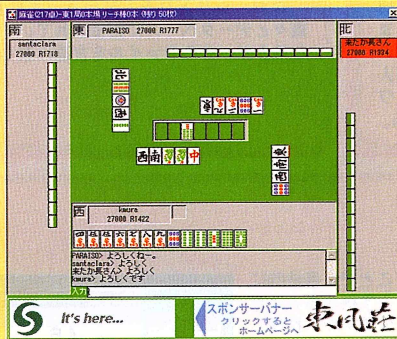
碁盤に碁石とくれば、囲碁か五目並べで遊ぶもの。囲碁は奥が深く難しい印象があるが、五目並べはその奥深さとは裏腹に極めてシンプルで覚えやすいゲームである。これは五目並べ - 正しくは「連珠」のゲームだ。いたって真面目な作りなだけに筆者などはプレイするときになぜか緊張感が走る。連珠には実はきちんとしたルールがあり、競技として成り立っているのがその理由かも知れない。

どんな対戦ゲームでも大体そうなのだが「先手が有利」というのは連珠の世界にも通用する。先手は黒、後手は白というふうに決まっているのだが、先手である黒にはいくつかの禁じ手が存在する。両面攻撃で勝ちを取る三三と四四、そして6個以上石のつながってしまった長連がそれだ。詳しくはヘルプを見てもらったほうが分かりやすい。

筆者が弱すぎるのか、コンピューターが強いのか全く勝つことができなかった。コンピューターが何手先まで読んでいるのかは分からないが、しっかりとこちらも先読みして打たないと勝つことはとうてい難しそうだ。

インターネットで対人戦ならではの味のある麻雀をプレイしよう  
東風荘

Mjsetup.EXE  
東 / (mjman)  
<http://mj.giganet.net/>



一昨年、ネット上を徘徊する麻雀好きの間でブレイクし、以来、高い人気を維持し続けているインターネット雀荘アクセソフト。単体では麻雀ゲームをプレイできないが、インターネットに接続できる環境さえあれば、雀荘に行かずとも仲間内だけで麻雀の真髄である対人麻雀を打てる。操作は簡単で分かりやすく、点数計算も自動で行ってくれる。プレイの合間や開始前、ゲーム後にはメンバー同士でチャットもでき、プレイの結果についてあれこれ意見を交換することも可能だ。サーバーにつなぐといつでも結構混み合っていることに驚きを隠せないが、それだけ麻雀を打つチャンスがあるということだと認識しよう。ちなみに会社や学校からインターネット経由でつなごうと思っても、経路によってはつなげないこともあるので、あらかじめ調べておくとういだろう。

インターネット上の雀荘という位置付けなので、それなりのマナーは守りたい。少なくとも麻雀の打ち方を知らない人はほかのソフトで麻雀を覚えてから接続するようにしよう。また、長考が多い人は始める前にメンバーに伝えておいたほうがよいだろう。電話の回線使用料がかかっているのだということを常に頭の片隅において置くべきだ。もちろん意図的に途中で抜けるという行為は絶対にしてはならない。みんなが楽しく遊ぶためには個々が最低限のマナーを守る、ということが重要だ。

さて、ジャンルごとにこの年 休みの手持ちぶさたに、あるいはハマれるゲーム探しの一環として、ぜひ遊んでみてほしい。  
（村上幸治）